

プロダクトコミュニケーションコース ライフクリエイションコース

2017年度 専門試験科目

● 色彩構成

実施する入試種別

公募制推薦入試[学校推薦型]B日程／一般入試前期B日程

専門試験科目における 前年度からの変更点

- 「面接・作品審査」を廃止して、「色彩構成」のみを専門試験科目として設けます。
- 「色彩構成」の試験概要に関する特段の変更はありません。

● 色彩構成 (プロダクトコミュニケーションコース、ライフクリエイションコース それぞれで実施します。)

出題意図： 与えられたテーマやモチーフから、形、色彩、材質、場(空間)の性格をとらえ、そのモノあるいはモノと空間の関連性をとらえ色彩で表現します。写実のみにこだわるのではなく、オリジナリティあふれる豊かな色彩感覚と構成力を評価します。

2016年度 公募制推薦入試 試験問題

時間： 3時間

問題： 与えられたモチーフをもとに、形とその特徴をとらえ、色彩で表現しなさい。

モチーフ：



● 雲形定規 3個

支給材料： ● 画用紙(A3) 1枚

持参物： 鉛筆デッサン用具一式
 水彩用具一式 ※1
 直定規(三角定規も可)
 画板(カルトン)※2

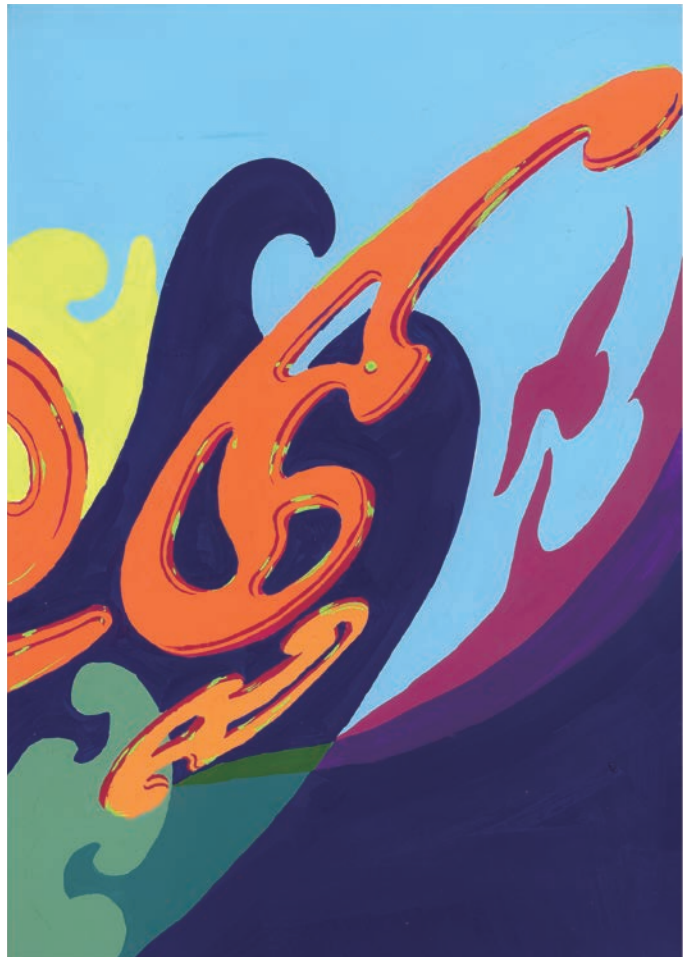
※1 絵具の色数の制限はありません。水で溶く絵具であれば種別を問いません。

※2 画板の大きさ、種類などに制限はありません。支給材料の紙の大きさを参考にして持参してください。



色彩構成 作品評価

雲形定規が動きを保ちながら、画面を超え続けて行くさまが見てとれる。背景の明度を落とした青緑はその形から、実は雲形定規の一部を彷彿させる形であり、細胞から宇宙までを表すような無限の世界観が感じられる構成は評価できる。寒色と暖色の対比、重なり部分の透明感など巧みに色を扱っているが、もう少しモチーフの数が描かれてもよかったと思われる。



色彩構成 作品評価

左下から右上方向への動きが感じられる作品である。明度を巧く使い、波のように何かに飲み込まれて行く様子が感じられる。中心となる雲形定規は色の描きこみが足りない点も感じられるが、形をしっかりと捉え、ところどころに反射の要素も加えている。これにより、背景との違いを出すことはもちろん、画面に奥行き感を与えることに成功している。